

**第104回全国高校野球選手権青森大会**

【青森西一八学光星】先発し、3回4安打1失点だった八学光星の洗平歩人＝八戸長根



## 父の無念 僕らが

【青森西一八学光星】父の果たせなかった甲子園出場を目指し、兄弟で大会に臨む八学光星の兄・洗平歩人（右）と弟・比呂



後、夏を迎えた。

八学光星・野呂洋翔（2）安打1打点の結果に「一本出たのはホッとしているが、4番としてはまだまだ。大会期間中に成長する」

## 洗平兄弟の光星 コールド発進

○3年ぶりの甲子園を目指す八学光星が7回コールドで夏の初戦を終えた。

スコア上は七回7点差勝ちだが、序盤は攻守で動きが硬さが目立ち、五回を終え「みないか」と提案され、サテリドは2点と、苦戦を強いられた。先発し、3回を修正。青森西戦の内容に4安打1失点でマウンドを降りたエース洗平歩人主将は「要所で球が浮いてしまった」と反省を口にした。

今季の洗平歩はフォームが安定せず、制球力に課題を抱えていた。夏の大会直前に仲井宗基監督から「リリースポイントを下げて

洗平の父は六戸町出身で、試合に臨みたい」と前回き同校OB、元中日投手の竜也氏。青森大会は1993（1年）もベンチ入りし、兄は95年と3年連続で決勝で涙をのんだ左腕だ。父もかなえられなかった夢を実現しようとする兄弟は、過去年は進学したが、過去2年はかなえられないまま高校最後の夏を迎えた。

初戦には弟の左腕・比呂が先発し、3回4安打1失点だった。八学光星は洗平歩人（右）と弟・比呂（左）が先発し、3回4安打1失点だった。八学光星は洗平歩人（右）と弟・比呂（左）が先発し、3回4安打1失点だった。

**2022 夏**

大会第5日  
 野球選手権青森大会第5日は12日、八戸長根など4会場で2回戦10試合が行われた。今春の青森県3位の八学光星は青森西、同4位の工大一は八高専それぞれコールド勝ち。工大一は八戸北との接戦を制した。二本木は大関の反撃を振り切った。八学野西は延長の末、黒石にサヨナラ勝ちした。八戸西は弘学聖愛に、十和田工は青森南にコールド負けした。青森山田は青森工との打撃戦を制した。このほか、東義、弘前南が3回戦に進んだ。第6日の13日は八戸長根を除く3会場で2回戦6試合が行われ、16強が出そろった。

（取材班）

2回戦

青森西	0	0	1	0	0	0	0	1
八学光星	0	1	1	0	1	3	2	8

(7回コールド)

(青) 佐藤、田村敬、伊東、佐藤一田村陽  
 (八) 洗平歩、富井、吉田一文元  
 ▷二塁打 野呂、井坂2 (八) ▷暴投 佐藤、伊東(青)  
 洗平歩、富井 (八)  
 ▷試合時間 2時間0分  
 (球審=小倉、塁審=大森、姥名、金)

【評】八学光星は2点リードの六回、深野の左前打を皮切りに打者9人で3点を追加。七回には井坂の2打席連続となる二塁打でコールド勝ちした。青森西は先発佐藤が気迫十分の投球。打線も相手主戦から得点するなど善戦したが、五回以降は踏ん張れなかった。

選手	打	安	点	球
【青森西】	打	安	点	球
① 佐藤	4	2	1	10
② 田村	1	1	0	10
③ 伊東	1	0	0	10
④ 佐藤	1	0	0	10
⑤ 田村	1	0	0	10
⑥ 伊東	1	0	0	10
⑦ 佐藤	1	0	0	10
⑧ 田村	1	0	0	10
⑨ 伊東	1	0	0	10
⑩ 佐藤	1	0	0	10
⑪ 田村	1	0	0	10
⑫ 伊東	1	0	0	10
⑬ 佐藤	1	0	0	10
⑭ 田村	1	0	0	10
⑮ 伊東	1	0	0	10
⑯ 佐藤	1	0	0	10
⑰ 田村	1	0	0	10
⑱ 伊東	1	0	0	10
⑲ 佐藤	1	0	0	10
⑳ 田村	1	0	0	10
㉑ 伊東	1	0	0	10
㉒ 佐藤	1	0	0	10
㉓ 田村	1	0	0	10
㉔ 伊東	1	0	0	10
㉕ 佐藤	1	0	0	10
㉖ 田村	1	0	0	10
㉗ 伊東	1	0	0	10
㉘ 佐藤	1	0	0	10
㉙ 田村	1	0	0	10
㉚ 伊東	1	0	0	10
㉛ 佐藤	1	0	0	10
㉜ 田村	1	0	0	10
㉝ 伊東	1	0	0	10
㉞ 佐藤	1	0	0	10
㉟ 田村	1	0	0	10
㊱ 伊東	1	0	0	10
㊲ 佐藤	1	0	0	10
㊳ 田村	1	0	0	10
㊴ 伊東	1	0	0	10
㊵ 佐藤	1	0	0	10
㊶ 田村	1	0	0	10
㊷ 伊東	1	0	0	10
㊸ 佐藤	1	0	0	10
㊹ 田村	1	0	0	10
㊺ 伊東	1	0	0	10
㊻ 佐藤	1	0	0	10
㊼ 田村	1	0	0	10
㊽ 伊東	1	0	0	10
㊾ 佐藤	1	0	0	10
㊿ 田村	1	0	0	10